

後期学校アンケート結果 No.1

京都市立川岡東小学校
校長 岡本 雅文
TEL 392-8820 FAX 392-8827

学校評価の結果より

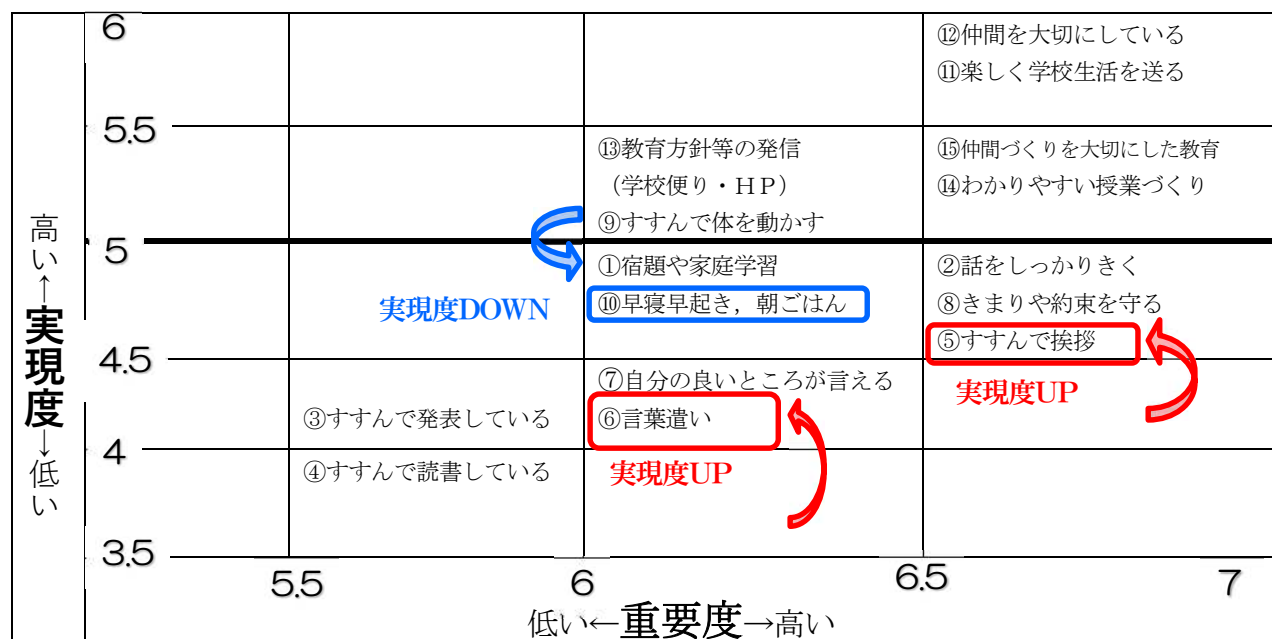


～ご協力ありがとうございました～



保護者の皆様には、1月に「本校の教育にご協力を」という形で、本年度2回目の学校アンケートを実施いたしました。407名ご回答をいただきました、ありがとうございました。その結果をお知らせいたします。

保護者評価の実現度と重要度の分布（1回目との比較）



表の見方について

重要度…7点満点で数字が高ければ重要であると考えられるもの。

実現度…7点満点で数字が高ければできていると評価できるもの。

5点を超えているとおおむねできていると判断してよいと考えています。

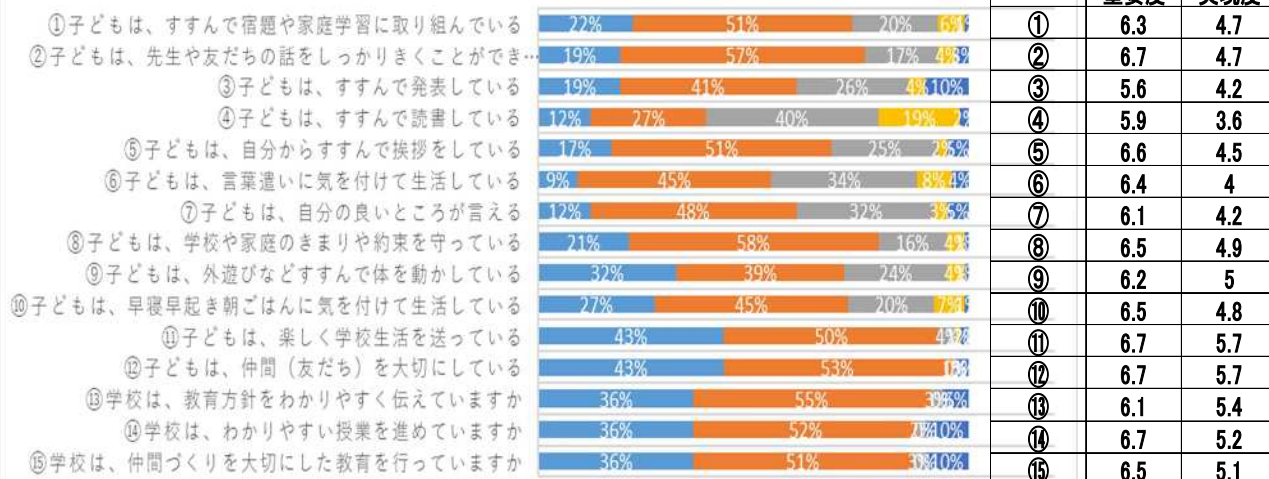
今回は、1回目と比較すると、保護者評価では5項目で実現度が高まりました。今回は、寒い時期でのアンケートでしたので、外遊びや早寝早起きのところの実現度が大きく下がりました。教職員の実現度が高まっていますので、保護者と教職員の実現度の評価が似通った結果となってきています。両者の結果から気になるのは、生活習慣に関わるころだと思われます。冬休みあけの生活点検でも、寝る時刻や起きる時刻、朝食摂取など寒い時期の影響もあるのですが、安定しているとはいいいがたい結果でした。

教職員評価の実現度と重要度の分布（1回目との比較）



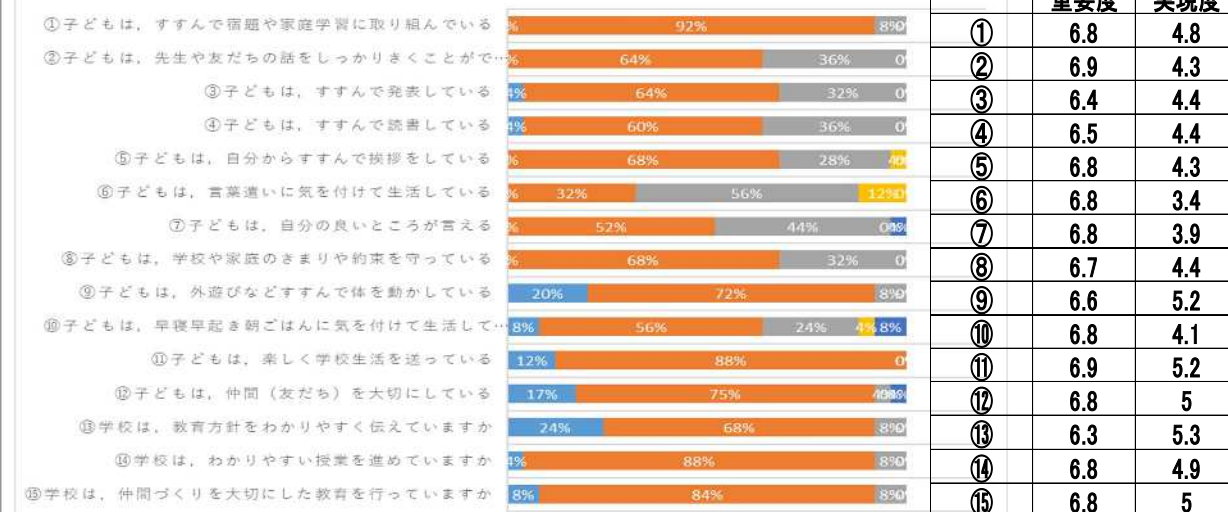
保護者評価 実現度

■よく出来ている ■大体出来ている ■あまり出来ていない ■出来ていない ■わからない

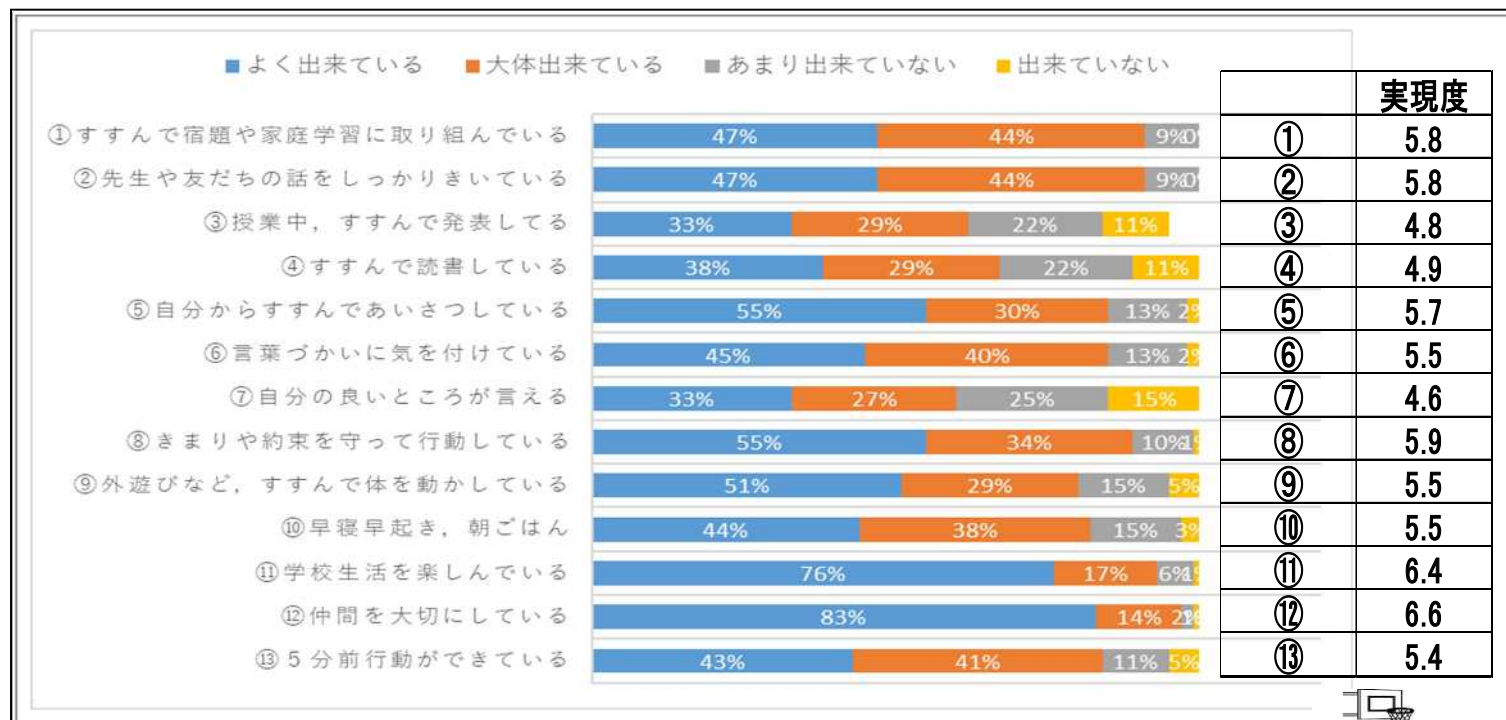


教職員評価 実現度

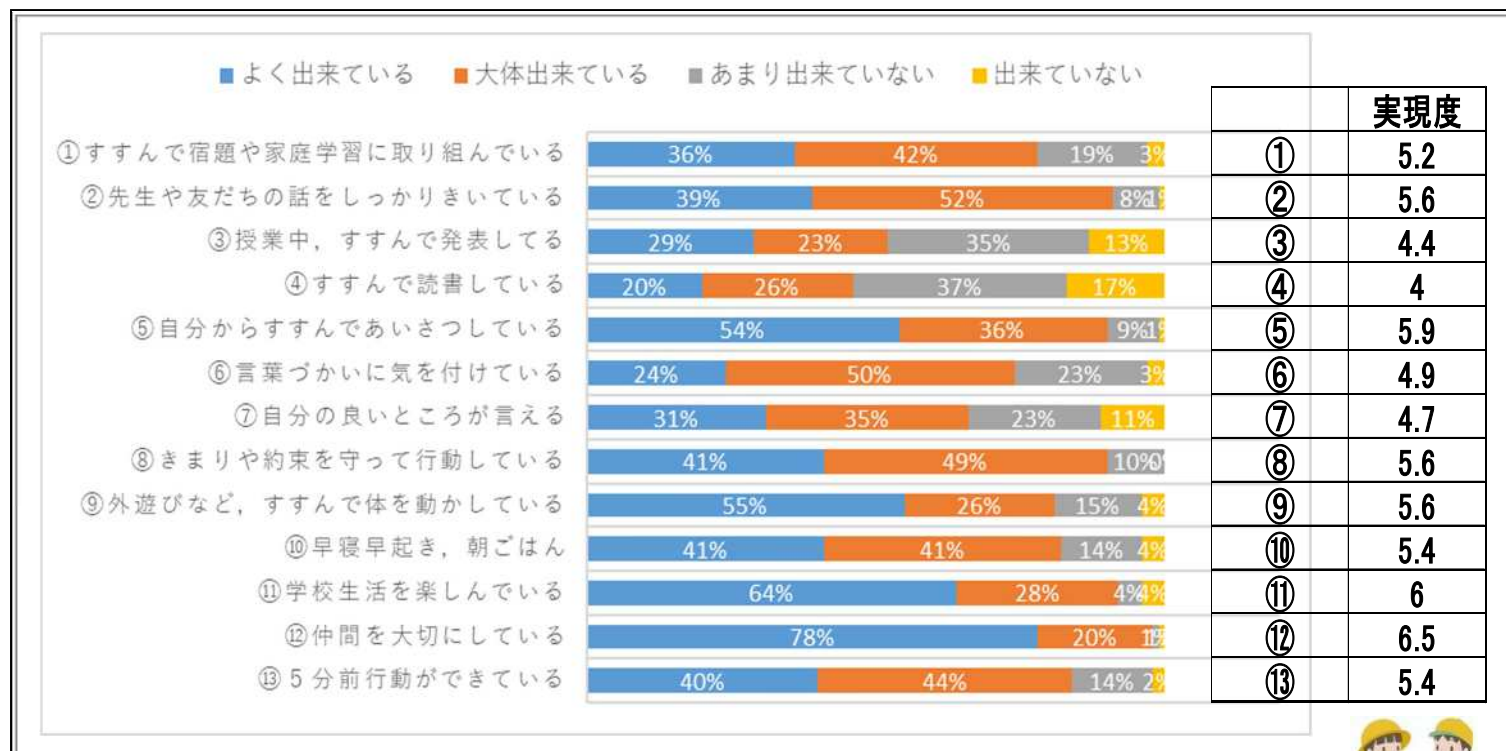
■よく出来ている ■大体出来ている ■あまり出来ていない ■出来ていない ■わからない



1・2・3年生 児童の自己評価結果



4・5・6年生 児童の自己評価結果



～保護者・教職員アンケート（表面）の結果より～

- ・教職員の実現度がずいぶん高まり、保護者の実現度と似通ってきています。しかし、やはり、④「進んで読書している」⑩「早寝早起き朝ごはん」には、実現度の開きは大きいです。どちらも学校での姿と家庭での姿の集団の全体で判断するところと個で判断するところの違いかと思われます。ただ、どちらも実現度としては決して高い方ではありませんので、意識して子どもの様子を確認し、改善していく必要はあるかと思っています。
- ・保護者の中で最も低い実現度が④の読書に関わって、2番目に低いのが⑥の言葉づかいに関わってです。教職員を確認すると、一番低いのが⑥の言葉づかいに関わって、2番目は、⑦の自分のよいところは言えるです。それぞれの立場から、言葉づかいは大きな課題であると認識できます。保護者と学校と連携をしながら、この課題を少しずつよりよく高めていければと思います。
- ・保護者の結果から、⑭「わかりやすい授業づくり」⑮「仲間づくりを大切にした教育」の項目の実現度が高いポイントで維持できています。うれしいところです。これに甘えることなく、授業の工夫や、学校生活全般を通じて、人権意識や仲間づくりに取り組んでいきたいと思っています。
- ・⑬「教育方針等の発信」の項目については、保護者の実現度が少し下がりました。いろいろと工夫しながらHPや学校だより、学年だよりを作成していますが、何かニーズが違っているのかもしれませんが、HPなどは学年によって発信の頻度が違うことがあります。それぞれができる範囲で、できる限り身近な学習の様子を知ってもらえるように努力していきますので、HPや各お便りに目を通してください。

～児童アンケート（裏面）の結果より～

- ・低学年の実現度が、多くの項目で下がりました。唯一高まったのが、①「宿題や家庭学習に取り組んでいる」でした。継続して学習に向かうことができているということなのかと思います。また、⑪「学校生活を楽しんでいる」と⑫「友達を大切にしている」は変わらずたいへん高い実現度を維持しています。うれしいことです。多くの項目で実現度が下がった要因を探らなければならないのですが、自分を振り返りしっかりと見つめることができるようになっていったのかもしれません。なぜなら、前期の実現度がたいへん高く、どのような姿が実現できているのか、という姿が大人が求める姿と乖離していた可能性があります。その点では、どのような姿が実現できていると判断するのが、明確になっていったのかもしれません。しかし、全体的に、高学年より低学年の方が実現度が高い傾向はあります。
- ・高学年については、大きな変化はありませんでしたが、③「進んで発表することができている」や④「進んで読書している」が0.3ポイント下がりました。学校で大切にしていることや高めていきたいところですので、この結果を重く受け止めて取り組みを進めていきたいと思っています。
- ・②「しっかり聞くことができています」や⑥「言葉づかいに気を付けている」はわずかですが実現度が上がっています。学校として焦点当てて取り組んでいるところでもありますので、この傾向がますます高まるよう、取り組みを継続していきたいと考えます。



保護者の方からのご意見

京都市立川岡東小学校
校長 岡本 雅文
TEL 392-8820 FAX 392-8827

〇たくさんご意見いただきました。ありがとうございます。同じような意見や個別に対応するものについては、ある程度まとめています。ご了承ください。

◎自由記述であるにも関わらず、たくさんの感謝の声をいただきました。ありがとうございます。学校として、たいへん励みになります。また、多くのご指摘や心配される内容、中にはご批判もいただきました。教職員でしっかりと受けとめ、今後の教育活動、次年度への取組の参考とさせていただき、全体計画の中で、よりよい取り組みにつなげていきたいと考えます。

■学校生活・学習活動等について

- ・細かいところまでフォローして頂き感謝しております。おかげさまで楽しい学校生活を送れています。
- ・学習面だけでなく、個人的には内面のフォローまで丁寧にいただきありがとうございます。また、放課後も子どもたちと一緒に遊んでくださり嬉しそうに話す姿を見てこちらも嬉しくなります。毎日ありがとうございます。
- ・娘は毎日、自ら進んで学校に楽しんで行っています。先生方が学校生活を楽しくすごせるようにしていただいているおかげだと思っております。大変なことが多いお仕事だと思いますが、先生方も子どもたちと楽しくすごしてもらえるといいなと思っております。毎日お疲れ様です。これからもどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます
- ・二学期の途中から漢字ノートを丁寧に書くようになりました。今までは書けたら良い、終わらせたらよいという感じで、こちらが何を言っても変わらなかったのに、「花丸もらえたでー」「これきれいに書ける？」と嬉しそうに言うようになりました。先生の指導の仕方が上手なんだと感心しました。
- ・楽しい一年だったようです。楽しい学級をつくって頂き、ありがとうございました。
- ・今の学年になってから学校に楽しそうに通っています。勉強は得意ではないけど、担任の先生のおかげで、今までよりは頑張れていると思うので、とてもありがたいです。色々学校に頼りっぱなしになっていますが、本当にいつもありがとうございます。
- ・子どもが担任の先生を好きで、信頼していたので、安心して一年間預けることができよかったです。ありがとうございます。否定せず話を聞いてもらえることで、自分の意見を言いやすかったようで、結果親も子どもから伝える事を任せることができ、本当によかったです。自分で解決する力も成長した一年だったなと思います。
- ・子どもが毎日楽しく学校に通えているのは、先生方のおかげと感謝しています。大変なことも多い中、いつも子どもたちのためにありがとうございます。
- ・楽しいクラスだと嬉しそうに登校しています。楽しい学級にいただきありがとうございます。
- ・クラス全体の遊びを通してクラスはとても仲良くしているように感じるが、学年全体を見るとこの間の参観で見ても、同じクラス以外の事の関わりをうちの子は積極的にしていなかったなので、3 学期は学

・教員の子どものかわりについて、感謝いただいていることたいへんうれしく思います。とても励みになり、次への意欲となります。家庭のご理解やご協力があって学校生活を充実させることができます。共に子どもを育む大人として連携しながら進めていきたいと思っています。ありがとうございます。

年として関われる機会を作ってもらえたらと思います。

- ・家庭で気を付けて気をつけてしつけや注意をしているつもりでもありますが、学校ではまた普段と違った一面を見せることも多いようです。良い面、よくない面両面あるとは思いますが、そのあたりも引き続き一緒に成長を促していけたらと思います。家庭でもコミュニケーションを大切に、子どもが健やかに成長できるように教育していきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。
- ・夏の熱中症対策をもう少し見直してほしいです。毎年心配になります。登校時・体育・運動会・教室の温度…。水分補給の指示も多く出してほしいです(特に1年生)
- ・今年度から体操服にゼッケンをつけなくてよいとのことだったが、まだつけている子もチラホラいます。外してしまいましたが、行事の際にはゼッケンがあると見つけやすいと思います。つけるのか外すのか統一してほしい。
- ・冬の体育の時、半ズボンだと辛そうなので、長ズボンの着用も検討していただけると嬉しいです。
- ・以前から学年やクラス担任によって、持ち物等で使ってよいもの、ダメなものの違いがあります。学年間ではいろいろな事を統一していただきたいです。
- ・授業で桃太郎電鉄を取り入れた授業をしてほしいです。

- ・体育服に関わっては、昨年度、長そでを購入できるようにしました。寒さへの対応ということで業者をお願いをして販売しています。長ズボンに関わるご意見をいただきました。寒さへの対応として、また校内で検討し、体育時の服装としてのルールを定めていきたいと思っています。大人から見ると寒そうで、となるのですが、長ズボンは少々動きにくい、脱ぎ着がしにくいので、あまり好まない傾向もあります。ジャージなど活用を禁止しているわけではありません。時々に合わせて相談いただいてもかまいません。
- ・体育服のゼッケンについては、個人情報保護の観点から作成しないということとしました。学校としては作成いただかなくてよいとしています。あとは、各家庭の判断に今はおまかせています。指導する側からすると、ついていての方が学年外の教職員にとって、名前がわかり指導しやすいのですが、校外での学習や交流の際には、心配な面も出てきまし心配されている方もおられますので、ご理解ください。
- ・学年や担任によってルールが違っているというご指摘を受けました。年度当初に、学校全体でまた学年で、ルールの統一を図り、共通理解していますが、少々混乱することとなっているようです。たいへん申し訳ありません。年度当初には再度確認し、混乱のないよう気を付けていきますので、各ご家庭でもご理解、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。
- ・暑さ対応や寒さ対応など、最近は極端な気象状況となり、学校としても考えているところです。対策することと充実した教育活動を進めていくこととの兼ね合いがなかなか難しいところです。今後も異常な気象状況にはなっていくかと思います。命を守ることを最優先にしながらも、与えられている設備等環境の中で、配慮、工夫しながら進めていきたいと思っています。
- ・さまざまな教育ソフトがつくられています。情報機器の発達により、いろいろな要素のソフトや動画などもあります。集団での学びの中で効果のある取り組みを模索はしています。費用対効果を考えるとともに、継続的に活用できるものなど教育の様々な視点からソフトの導入などは検討します。ただ、われわれは公教育なので、ある程度制限があったり、配慮しなければならない点があったりすることもご理解ください。

保護者の方からのご意見

京都市立川岡東小学校
校 長 岡本 雅文
TEL 392-8820 FAX 392-8827

■家庭学習に関わって

- ・子どもたちが楽しめるようなイベントや取り組みをしてくださりありがとうございます。おかげさまで我が子はシールや賞状をもらおうと意欲的に取り組むことができます。
- ・夏、冬休みの宿題は、ドリルやワークにすることは難しいでしょうか？手作りのプリントもありがたいのですが、ホッチキス近くは書きにくい。（消しにくく破れます）ですし、マル付けも大変です。市販のドリルの解答のように、親が見やすくマル付けもしやすくしてほしいです。
- ・長期休みの宿題が多く感じる。夕方17時以降から宿題・食事・風呂と、仕事をしているので、どうしても睡眠時間を削らなければならない時があり、翌朝起床が辛いと感じることがある。コミュニケーション不足にも繋がるので、子どもが自分の事を話す機会が減り、異変に気づくのが遅れることもしばしば。仕事をしているのは、こちらの都合のため、何を言っているんだというご意見もあると思うが、共働き世帯やワンオペ育児状態の家庭もご考慮いただきたい。計画を立て、効率よく進められたら良いのですが、一年生ではまだ少し負担なようで、少しずつ増やしてほしいと思いました。次学年に進級するにあたり、準備・新規に購入しなければならない物を早めに教えていただきたいです。
- ・長期休みの宿題のプリントをドリルかワークにすることはできないでしょうか？（市販）毎回ですが子も親のマル付けを見にくくてしづらいです。先生の負担も減るのではないかと思います。
- ・荷物が多くて重い。PCの持ち帰りの日は特に重い。持ち帰る教科書は、算数・国語ぐらいで十分だと思う。

- ・家庭学習に関わっては賛否があります。一定量の課題の提示で成果があらわれ、喜んでいただくこともあります。また、量の多さに苦慮しているという声もあります。学校としては、学習習慣の確立を目指して、学校と家庭との学習をつなぐということを意識して取り組みを進めています。ただ、家庭学習の内容に関わっては、これからの社会をたくましく生き抜く力の育成につながる取組に変えていかなければならないとも感じています。思考力判断力を育成する取組、主体的な学びに向かう力を育成する取組、そんなことにつながる取組となるよう、これからも教職員で検討しながら進めていきたいと考えています。
- ・全国学力学習状況調査の結果でもお知らせしていますが、本校の状況として、家庭での学習時間が少ない、という結果が見受けられます。特に、休みの日など、読書も合わせて全く取り組んでいないという児童も一定数見受けられます。学習は習慣化が必要です。歯を磨くように少しでも学習に向かうということができれば、次への展開につなげられるのではないかと考えて、取り組みを進めているところです。
- ・今回、長期休暇の課題に関わるご意見が多くありました。いただいた声を参考にして、教職員で共有して検討していきます。

■あいさつや言葉づかいに関わって

- ・言葉遣いに気を付けさせる。遊びと暴力の違いを認識させる。
- ・最近お友達に対して心無い言葉をかけている人がいるという話を聞くことがあるので気になっています。
- ・言葉遣いのよくないお友達がいるようです。授業中に話しかける子、邪魔をする子がいるようです。
- ・旗持ちをしていると、挨拶ができない子が多いのが気になります。自分から言えなくてもせめて返してほ

しいなと思います。

- ・挨拶について、旗当番で立っていると、昨年より挨拶をしてくれる子が増えたように思います。恥ずかしそうにしながらも小さい声でも返してくれるので、先生方の指導のおかげなのかなと思っています。挨拶は大切なので、引き続き指導していただきたいです。

- ・言葉づかいやあいさつは、本校の大きな課題の一つです。校内でも意識をして取り組みを進めています。ずいぶん変わってきたと思っていましたが、まだまだだという認識にさせられました。学校では気を付けることができて、地域にかえると何も変わっていないのであれば、何も学んだことにはなっていないこととなります。言葉づかいやあいさつを大切に思い、学校と家庭が連携して取り組んでいくことが大切だとも思います。我々教職員は、学校は子どもが最も長く過ごす社会として考え、そのモデルとなる大人が私たちであるという認識を持つようにしています。子どもが挨拶をしない、子どもが乱暴な言葉を使う、それは、大人の鏡であるという認識を学校では大切にしています。まずは、我々の言動を振り返るようにし、子どもにさせたい言動は、まず私たちがその手本を、背中で示すことを意識しています。まずは、私たち大人の言動を確かめてみませんか。

■子どもの様子や情報提供について

- ・「校長の窓」いつも楽しく拝見しております。ホームページに書かれている内容を子どもたちに話すと、「ママ何で知ってるん？」とびっくりされ、コミュニケーションのツールにもなっています。これからも楽しみにしています。
- ・子どもの良いところを伸ばそうとして下さるおかげで積極性が増したように感じます。いつもありがとうございます。
- ・普段の学校の様子の写真(HPより)を閲覧するだけではなく、ネット上よりダウンロードや写真を購入できるようにしてもらえると嬉しいです。
- ・もっとスクリレを活用して、プリント類を載せてほしいです。
- ・学校評価アンケートをデジタル化してほしい。QRコード読み込みでの回答forms返信の方が利用しやすいです。
- ・スクリレをもっとたくさん活用して、プリントを載せてほしいです。いつでもスマホで確認ができるので助かります。
- ・学習面だけではなく、子どもなりに生きていくための基本的なルール、規律性を高める教育をしていただけていると感じます。学校だよりや学年通信では、子どもたちの様子を伝えていただいているので安心します。日々の温かい子どもたちへのサポートに感謝の気持ちでいっぱいです。

- ・HPに関わってありがとうございます。学年の教員も、学年外の教員も頑張って様子を伝えてくれています。ただ、閲覧数が増えません。内容をもっと考えていかなければならないのでしょうか……
- ・スクリレは今年度から導入しました。まだまだ活用の仕方は考えていかなければならないと思っています。次年度からは「すぐ〜る」というメール配信システムにかわります。お手数をおかけしますが、再度登録をお願いします。機能面がずいぶん充実していると聞いています。有効に活用していきたいと考えています。
- ・学校アンケートのデジタル化、その方法も検討はしていますが、デジタル化した学校の様子を聞いていると回収率が大きく下回ったということを知りました。今、95%に近い回収率です。たいへんうれしく思っていますが、同じような回収率となるのなら、デジタル化の方が我々も分析しやすくなります。みなさんのご協力によるものなので、今は迷っているのが正直なところです。検討していないわけではありませんが、回収率との兼ね合いで悩んでいるということをお知りおきください。

保護者の方からのご意見

京都市立川岡東小学校
校長 岡本 雅文
TEL 392-8820 FAX 392-8827

■その他

- ・娘が学校に行きたくないモードを発動し、何とか学校の門まで送っていきましたが、大泣き。担任の先生が来てくれて泣き叫ぶ娘を託して帰りました。休ませた方が良かったか、先生方にも迷惑をかけてしまったと悶々としていましたが、担任の先生から電話があり、「お母さん、連れてきてくれただけでもありがとうございます！」「そこからは私たちの仕事です。迷惑でもなんでもないです。まったく気にしないでください」と言われ涙が出た。他の先生からも「私たちはプロだから学校に連れてきてくれたら後は甘えたらいい」との言葉もいただき、また泣いた。優しい言葉ばかりで救われました。ありがとうございます。
- ・毎日元気に楽しく学校に通うこと。できそうで当たり前のようで実は難しいことだなあと感じます。勉強ももちろん大切ですが、人と人とのつながりや周りへの感謝の気持ちなどそういったことを学んで成長してほしいです。いつも温かく見守り接してくださっている先生方、地域の方々ありがとうございます。
- ・大きくなれば心身ともに成長して手がかからなくなるはず、と淡い期待を抱いていましたが、それは大きな間違いで、反抗期の息子に毎日手を焼いています。著しく言葉や態度が悪くなり、早寝・早起きも難しくなっているようです。親の言うこともほとんど聞いてくれず…。思春期育児の難しさを痛感しています。親が経験した小学生時代の頃は、先生というのは怖い存在で、教師による暴言・暴力も当たり前でしたが、現代ではそうもいかず、我が子を含め心の問題を抱える子どもたちが増えている中、対応に当たる担任の先生方のご心労は図り知れません。我が子に向き合い、問題解決のための努力をすることは当然ですが、先生方にもその負担を強いてしまう状態は心苦しく思います。諦めずに声かけ、支援をしてくださる担任の先生に感謝しております。
- ・たくさんの授業参観などの機会を作ってくださいありがとうございます。個人的に親が参加するイベントが多いと思いました。仕事をしている中、都合をつけるのが難しく、不参加の選択肢もありますが、行かれる他の親御さんが多い中、不参加にすることで子どものモチベーションが下がるような気がして、なかなか「不参加」を選択できません。もう少し、イベントが少ないといいなと思いました。
- ・マラソン大会や参観は、1日で全学年が見れるようにしてほしい。仕事を休まなくてはいいなくなる日が多くなり、困っています。また、マラソンはグラウンドではなくせめて公園で走ってほしい。グラウンドで見てもよくわからない。
- ・身体測定の際、名簿順で並んでいるため、男女混合になっているようで、身長を特に異性に聞かれたいと子は嫌がっている。体重は聞こえないし、体操服だから着替えないとはいえ、出来れば高学年は男女分けてあげてほしいなと感じます。身体測定後にかかわれたりしないか不安のようです。できれば部屋に入る際は、男女しっかり分けてあげてほしいです。
- ・スピードを出して自転車に乗っているのを見かけます。事故にならないか心配です。
- ・自転車に乗る時のヘルメットをかぶっている子が増えるといいなと思います。
- ・雷雨が厳しい日に、部活がなくなり帰ってきました。こういう場合、学校で待機は難しいでしょうか？傘をさしてもびしょ濡れでした。
- ・授業参観中に私語をされる保護者が気になります。子どもたちは一生懸命授業を受けているのに参観に来た親がおしゃべりに夢中になってはいけないと思います。マナーを守っていただきたいです。
- ・PTAのありかたについて、共働きなど、家族の在り方が変わる中、「本当に必要か」と疑問に思うことが少しあります。例年通りにPTA活動を維持するのではなく、他の保護者様の意識調査を年一度でもあっていいかと思いました。

- ・様々な視点からお気づきいただいたことを記述いただき、ありがとうございます。行事に関わっては、毎年悩み、考えながら取り組みを進めています。時期や取組方法、時間など、毎年検討しながらすすめています。今年度、コロナが5類に移行したこと、報道でもあるように、教職員の働き方や学習活動の時間の増加など、様々な課題がある中、限られた時間の中で効果のある取り組みを考え進めています。また、保護者に見ていただく機会は、原則、月1回、何らかの形で様子を見ていただいたり、来校いただいたりできるようにしています。少ない、もっと多くの機会を、という声も届くことがあります。
- ・今年度、子どもの負担や教科の学習時間の確保など、様々な視点から、いくつか大きく行事を見なおしました。参集して取り組めるという社会の変化を受け入れつつも、慎重に検討しながらすすめたところです。運動会や学習発表会、マラソン大会、5年生の山の家の宿泊学習も2泊での実施と、大きく変更しています。新たな方法を取り入れたときには、賛否も多く、直接お言葉をいただくことも多々あります。今年度新たにしたばかりですので、もうしばらく、マイナーチェンジをしつつも今年度の取組をベースに進めさせてください。いろいろご意見あることは認識していますが、学校事情も含めてご協力、ご理解いただくと助かります。また、こんなことしてみても、こんなことできませんか、という代替案などもお伝えいただけると考える視野は広がるかなと思います。
- ・学校行事に関わってはいつもPTAの役員の方々にご協力いただいています。PTAの方々の協力があり、我々は子どもたちとの取り組みに集中することができます。そのことが、教育活動の充実や子どもの成長に寄与していることをお尻おきください。いつも本当に、ありがとうございます。
- ・自転車の乗り方、校外での遊び方、登下校の仕方等については、何度も子どもたちには話をしているところです。安心安全な過ごし方を考えて行動できる子どもになってほしいと願い、日々指導に当たっているのですが、まだまだですね。自分の命を守る行動だけでなく、多くの方々が安全に安心して過ごせる地域を、地域の一人としてどのような行動がいいのか、考えて行動できる子どもを育みたいところです。地域をつくる一人としての自覚を高めていきたいと考えているところです。
- ・自転車のヘルメットのご指摘がありました。それと、この地域の特性なのか、年齢にかかわらず2人乗りの自転車をよく見かけます。何が、どのように、ではなく、全般として社会のルールについてどうとらえ、どう考え、どう行動しようとしているか、その点をとわれているように思います。
- ・内科検診等、年度当初にもお知らせしている通り、本校の現状の中で配慮しながら進めているところです。身体計測についても、いただいた意見を教職員で共有し、どのように進めていけるのか、考えていきたいと思っています。
- ・PTAにかかわっては、本部役員の方々がいちいち工夫しながら取り組みをすすめていただいています。川岡東小学校のPTAの方々は、必要に応じて、ご協力いただき、子どもを温かく迎えていただきたいへんその存在をありがたく思っています。無理のないように、大きな負担とならないように活動いただければありがたいところです。

保護者の方からのご意見

京都市立川岡東小学校
校 長 岡本 雅文
TEL 392-8820 FAX 392-8827

■地域の方々から（一部抜粋）

- ・見守りは事故が起きないようにしているのですが、自分で自分を守ることを教えることが、一番大事です。基本の「右見て左見てもう一度右見て、行っても良い」これは何度か言ったことがあります、まだまだ定着していません。最近、馴染みになり、おはようと言ってくれたり、時間を聞いたりしてくるので、嬉しいです。
- ・通学路の見守りをしていますが、ほとんどの子どもは右側の通学路ラインにそって元気に通学しております。ただ、一部の子どもの左側を歩く時があります。今後は、町別集会等をしていただいて、通学路ラインにそった通学をしてくれることを望みます。
- ・（放課後まなび教室から）冬休みを境に2年の宿題の取り組み方が大分変わってきました。前は始めるまで時間がかかっていましたが、今は早く終わらせて次の自分の予定に向かう子（少数ですが）、時間が残っている子は好きなこと・やりたいことをして過ごし、時間まで教室にいるなど、時間の使い方はそれぞれちがいますが、上手になっていると思います。2年は3クラスですが、クラスを超えて仲が良いです。1年は、慣れてきたこともあるのか元気でにぎやかです。始めるまで時間がかかりすぎ（全員が全員ではないのですが）。1・2年ともに注意すればわかってくれる素直な子たちです。
- ・（放課後まなび教室から）高学年の子ども達は少ないですが、皆さん静かに積極的に宿題に取り組んでいます。一方低学年は、授業が終わった解放感からか、入室して間もなくすると、私語があちこちから聞こえてくる。そのうちに声がエスカレートして、うるさい時があります。隣の教室では6年生が授業をしているので、注意します。
- ・（放課後まなび教室から）3年生と4年生の児童の宿題を担当していますが、大声を発する子どもには注意しますが、直ぐに直す子と、注意に反論する子がいます。児童の中には、注意を妨げられるとして、子どもの方からも注意する場合があります、良いことだと思います。
- ・（放課後まなび教室から）何が不満なのか、あたりかまわず悪態をつく子がいます。私達大人に「くそジジ」「くそババ」等々言われるのはかまいませんが、一緒にいる子どもたちが聞いていて、どう思っているのか心配です。教室の空気を乱し、それが「かつこいい」と勘違いすることもあるかと思っています。
- ・（放課後まなび教室から）学校でのカリキュラムをこなした後、毎日のように塾、お稽古事、本当に頑張っていると思います。でも少し、昔の教育を受けてきた私にとって、漢字の筆順はどの子も気にしていない。きれいな字を書くには、正しい筆順で書けば、それなりになると教えられた世代には気になります。
- ・一部の児童で非常に言葉遣いが悪いのが気になります。殺すとか死ねとかいう言葉も出ています。日常的なのでしょう。
- ・運動会を見に行きましたが、子ども達が生き生きして、がんばっている姿を見られてとても良かったです。
- ・学習発表会や運動会を見せていただいた時、どの学年も素晴らしい発表でした。どの学年のどの先生方も一生懸命の御指導さが目に浮かびます。いつも御苦労様です。
- ・お忙しい中、本当にいろいろ工夫されて、頑張っておられると思います。働き方改革なんて学校の中では空事なのでしょうね。コロナやインフルエンザ感染にも一番近い距離、どうかお身体には充分お気をつけてください。コロナが終わったと思ったら、インフルエンザで大変だと思われそうですが、我々も十分に協力していきたいと思っております。
- ・直接お話をしたりする機会がほとんどありませんが、今の親御さんのバイタリティには、感心していま

- す。子育てと主婦、主夫、仕事とゆっくり休む間もない毎日、それがどの方もあたり前。心からエールを送りたいと思います。
- ・公園のすべり台等にお菓子の袋等が散乱していることがある。小学生ではないかもしれませんが、気になります。
 - ・コロナ感染の影響でストップした、学習支援、また復活を願うのはなかなか難しいことと思いますが、地域と子どもたち、学習を通して何かまた、支援ができるようになればいいなと思います。
 - ・北校舎の北側の非常階段ですが、錆が目立っています。また、平日には室内から鍵がかかっていますが、避難訓練の時にはどのようにされているのでしょうか。
 - ・子ども達からは顔を覚えてくれて、近所では挨拶をしてくれています。
 - ・少年補導委員会が主催する事業に参加する児童たちは、私たち委員の言葉を十分に聞いて、行動していますので問題はありません。しかし、近年は参加する児童が少なくなってきているのが少し寂しい限りです。

～学校運営協議会の委員様より～

- ・教職員と児童の実現度に違いがあるのはなぜか。
→教職員は全体を見て、児童は自分はどうなのかで判断しているため、違いがあると思われる。また、全体を見たとき、できていない子どもが一定数いると、教職員の実現度は下がってくる。
- ・「仲間を大切にしている」という項目の実現度が高くて良かった。
- ・学年や担任によってルールが違うということについて、具体的には？
→持ち物の使用許可基準に違いが出てきているのではないかと考える。子どもたちは混乱しないよう、しっかりと教職員で共通理解を図ってすすめていく。
- ・子どもたちは自分の言葉遣いを悪いとは思っていないので、教職員との実現度に差が出ているのではないか。
→そうであるならば、何がダメなのか、どんな言葉遣いがいいのかを具体的に示していなければならない。
- ・登校時の様子について。雨の日に車道に出てしまう児童がいる。中心付近の歩道が込み合い、トラブルになっている。
→行政とも連携をとって検討していく。

【後期学校アンケート結果分析から】

お忙しい中、学校アンケートにご協力いただき、また、それぞれの視点からご意見をいただき、ありがとうございます。今回より、学校の取組にご協力いただいている地域の方々からもご意見を頂戴しました。

保護者の方も地域の方も、学校の取組に一定のよい評価をいただいていることに少し安堵しました。しかし、まだまだ改善や見直しをしなければならないところがあります。この結果を次年度の教職員とも共有し、よりよい川岡東小学校の教育を進めていけるように、努力してまいりたいと思います。

教職員集団も人の集まりですので、全員が同じことを同じようにできるわけではありません。経験年数も違えば、得意なこともことなります。それぞれの特質を生かしながら、連携をしっかりと取って、チームとして子どもたちの育成にあたっていく所存です。それぞれの特質はあるにしても、子どもを思う気持ちとよりよく育みたいという思いは同じであることは、ご理解いただきたいと思います。

今年度も新たな取り組みを行ってきました。それぞれの取組にご協力、ご支援賜り誠にありがとうございます。次年度も、川岡東小学校をどうぞよろしくお願いします。

校 長 岡本 雅文